

位置図 S=1/100



申請箇所

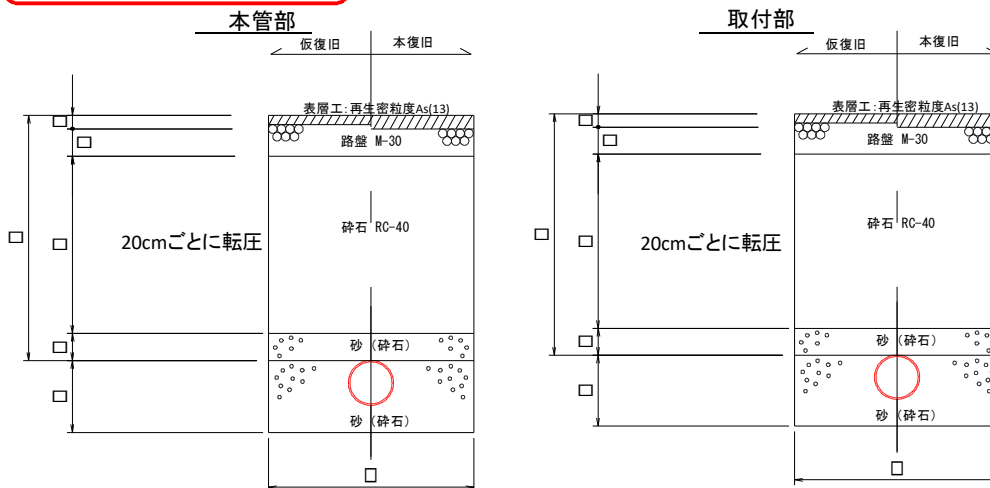
既設の取付管がないか『経営企画課』で確認。

水道、電気、通信、ガス等の“埋設物”を事前に確認し、施工時には関係機関と調整。

申請箇所の土地を明記。区画を分筆する場合は図示。区画が複数ある場合は別途図面を添付。

舗装本復旧の構造については、道路管理者の指示に従うこと。

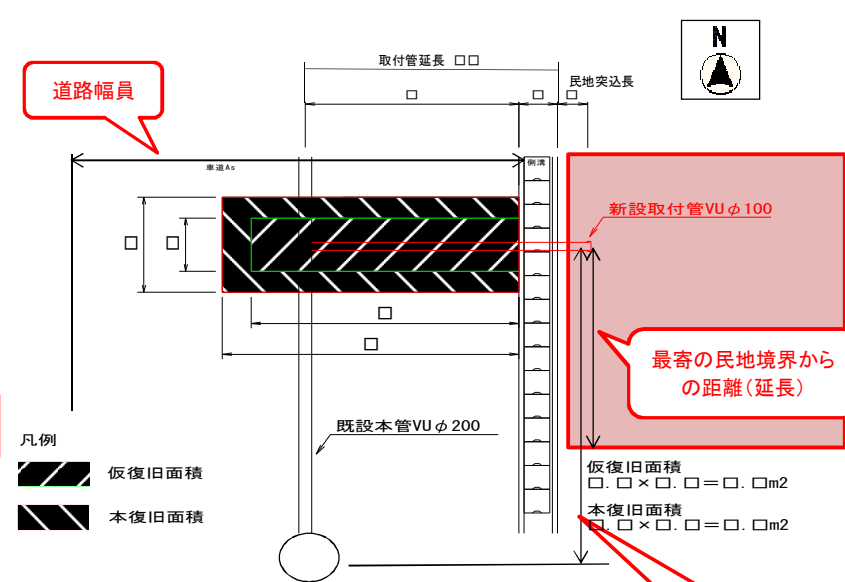
掘削断面図 S=1/100



下水道本管の埋設深さが1.50mを超える、または土質が不安定な場合は土留工を行うこと。

基礎は本管がVUの場合は「砂」PRPの場合は「砕石」

平面図 S=1/100



道路幅員

新設取付管VUφ100

最寄の民地境界からの距離(延長)

凡例

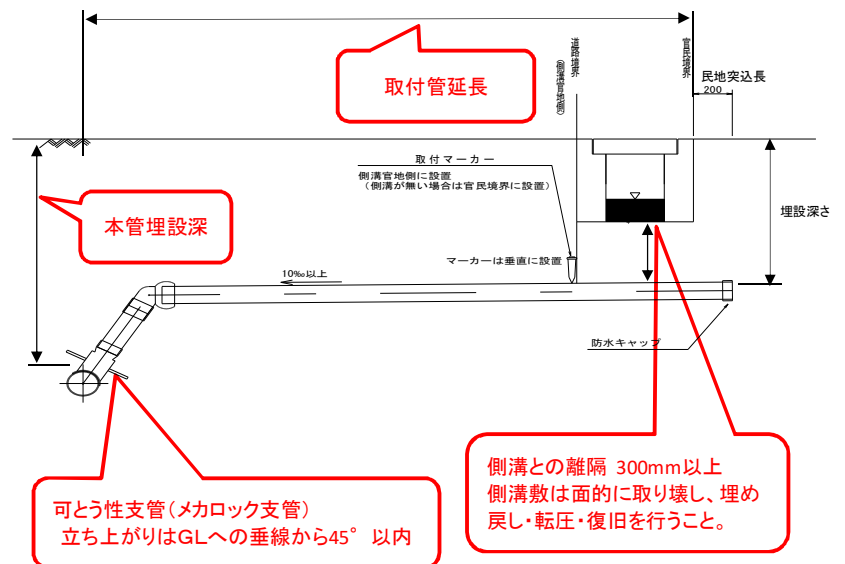
仮復旧面積

本復旧面積

仮復旧面積

本復旧面積

横断面 S=1/100



取付管延長

本管埋設深

可とう性支管(メカロック支管) 立ち上がりはGLへの垂線から45°以内

側溝との離隔 300mm以上 側溝敷は面的に取り壊し、埋め戻し・転圧・復旧を行うこと。